

◆ 令和2年7月豪雨の被災に伴う第40回災害ボランティア活動として、

11月14日(土)福岡県大牟田市大字宮部において農業災害復旧活動を実施しました。

今回の活動は、令和2年7月豪雨の被災にともない10月20日付新聞に掲載された「農地復旧『力貸して』大牟田市がボランティア募集」をきっかけとして、現地でサポートしておられる「AAA九州代表山崎氏」および「NPO 法人がんばりよるよ星野村代表山口氏」から情報収集をしたうえで、筑後信用金庫内にて災害ボランティア参加者を募り、活動の運びとなりました。当金庫では、通算第40回目の災害ボランティア活動となり、有志11名(うち野球部6名)が参加しました。全参加者は約60名で、農業高校の生徒さんや一般参加者数名の参加があったため、2班に分かれての活動でした。

当日は、本店と羽犬塚支店にて集合したあと、8時45分大牟田市上内の「大牟田農業災害ボランティアサポート拠点」で合流しました。9時半から支援スタッフからの挨拶、本日の作業内容の説明をうけて、二班に分かれて作業現場へ向かいました。私たちは、「がんばりよるよ星野村」の方々と合同となり約30名で活動しました。

作業内容は、当初農地の上に雨水で流された土砂を撤去するもので、一部重機が入って軽トラや一輪車で所定の位置へ運びました。また、水路の泥出しは、コロナ自粛中の身体にはハードなもので、深さ1.5m以上のところから泥をテミ(手箕)に入れて運び出す作業で野球部の仲間が人一倍頑張ってくれました。15時半頃には朝のサポート拠点で集合写真を撮り解散しました。終了後、長靴を脱ぐ際には両足のふくらはぎがつってしまうほどの疲労感を感じながらも、爽快感をも感じました。

復旧作業に参加されたボランティアの皆様お疲れ様でした。また、お世話いただきました支援スタッフの皆さまありがとうございました。

以上

(集合写真)



(活動状況)

